日塗工	整理No.	2016-26	労働災領	 上 上 大 に に に に に に に に に に に に に	
発生会社	事業所				
災害発生日時		2015年 7月 23日(木) 13時 50分 天候(晴れ) 温度(℃)湿度(%)			
災害区分		不休災害 休業災害 (休業: △日)			
被	部門	_		雇用形態 正社員、派遣、契約、その他(構内協力会社)	
災	年齢	55 歳	性別: (男) 女	勤続年数 8年 ヶ月 経験年数 8年 ヶ月	
者	傷病名	病名 (切創)			
	傷病部位	位 左手 人差指・中指・薬指			
	① 充填され	されたドラムをフォークリフトで、搬出ライン 状況概略(写真orイラスト)			
災	(ローラー	ラー)から引き取る作業を行っていた。 引出すと隙間に			
	② 当該作業	当該作業中、搬出ライン上(シャッター戸袋下の 手前)でドラムが途中停止していたため、左手を戸袋		挟まれる	
害	手前)でド			ドラムとの隙間は 1cm以下	
	とドラムの	ドラムの隙間に入れて、ドラムを引き出そうとした。			
発	③ その際、	③ その際、ドラムとシャッター戸袋の枠の間で手を			
	挟み、ドラムが動き出した勢いもあり、反射的に手を				
生	抜こうとして、指3本が抉られるような状態になった。				
	④ 骨及び神経には異常がなかったが、人差し指・			2-	
状	中指•薬指	旨を計15針縫	った。		
況		ドラムが滞積すると後部は動かなくなる			
	災害の型			作業の形態:定常、非定常、その他()	
	起因物:	ドラム		特記事項 特になし	
	1.人的要因(man): 近道行為(不安全行動)				
原					
因	2.物に関する要因(machine): 傾斜がなだらかな為、ドラムが途中停止しやすいライン構造				
分					
類	3.環境要因 (media): ドラムとシャッター戸袋の隙間が1cm以下 4.管理的要因 (management): ドラムが途中停止した場合の手順無し				
	① 戸袋開口部を手が挟まれないくらいまで広くなるように改造する。				
対	② 基本的には、「工場内の製造課担当者に声を掛けてドラムを押し出してもらう」、または「製造課担当者が居ない				
	場合は、工場内に入りドラムを押し出すか、引き出し用冶具(今回新規作成)を使用して、停止しているドラムを				
策	排出させる。」こととする。				
	③ 戸袋に注意喚起の表示を行い、作業標準にドラムが途中停止した場合の手順を追加する。				
	対策分類	* ⁽²⁾ :1-2 災害·	・事故の想定と対応、1-4 安全		